

生活一 2 (第 2 学年) 他者とかがわり進んで交流する事例

【学習活動の概要】

1 単元名	知って、伝えて、大すきこの町																
2 単元の目標	地域を探検したり、そこに住む人々と交流したりする活動を通して、自分の住んでいる地域の自然や社会、人々とかかわる楽しさが分かり、地域への関心を高め愛着をもとうとする。																
3 評価規準	<p>【生活への関心・意欲・態度】地域の自然や社会及び人々とかかわることに関心や愛着をもち、進んで探検したり、交流したりしようとしている。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】地域とのかかわりの中で気付いたことや思い出に残っていることをまとめ、相手に応じて内容や方法を工夫して表現している。</p> <p>【身近な環境や自分についての気付き】地域やそこに住む人々とかかわる楽しさや伝え合うことよさに気付いている。</p>																
4 学習活動	<p>季節の変化に伴う町探検の経験を通して、児童は、身近な地域の自然や社会を見つめる視点を増やし、さらに、そこで生活する人々とかかわりが深まってくる。これらの一連の活動を振り返り、言葉や文字、絵などを使って、発表したり、まとめたりする活動を取り入れることで、地域とのつながりは一層深まる。</p> <p>そこで、本単元では、町探検でお世話になった地域の方々を招待し、町探検で気付いたこと、発見したものなどを紹介したりするとともに、新たな疑問に答えてもらったりする活動を取り入れ構成した。</p>																
5 学習活動の実際	(1) 単元の展開 (全17時間)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="288 1095 391 1128"></th> <th data-bbox="391 1095 938 1128">学 習 活 動</th> <th data-bbox="938 1095 1430 1128">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="288 1135 391 1294">第一次</td> <td data-bbox="391 1135 938 1294">○これまでの町探検を振り返り、思い出に残っている場所や会ってみたい人を発表し連絡を取る。(2)</td> <td data-bbox="938 1135 1430 1294">・カードや写真を効果的に活用するとともに、学級の実態に応じた人数のグループを編成し、意見が述べやすい環境を整える。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1301 391 1460">第二次</td> <td data-bbox="391 1301 938 1460">○町探検のまとめ「大すき、この町発表会」の計画を話し合う。(3) ○招待状や発表会のお知らせについて意見を出し作成する。(3: 本時(2・3/3))</td> <td data-bbox="938 1301 1430 1460">・友達や地域の人などに、お願いしたり、説明したりする活動を繰り返す。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1467 391 1626">第三次</td> <td data-bbox="391 1467 938 1626">○話合いの結果から「大すきこの町発表会」の準備と案内をする。(6)</td> <td data-bbox="938 1467 1430 1626">・説明する内容を友達に聞いてもらい、感想を述べ合う場面を設定する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1632 391 1749">第四次</td> <td data-bbox="391 1632 938 1749">○「大すきこの町発表会」を開催し、お世話になった人や地域の人との交流を深める。(3)</td> <td data-bbox="938 1632 1430 1749">・感謝の気持ちを示すとともに、相手を意識した情報発信とすることを大切にする。</td> </tr> </tbody> </table>		学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	○これまでの町探検を振り返り、思い出に残っている場所や会ってみたい人を発表し連絡を取る。(2)	・カードや写真を効果的に活用するとともに、学級の実態に応じた人数のグループを編成し、意見が述べやすい環境を整える。	第二次	○町探検のまとめ「大すき、この町発表会」の計画を話し合う。(3) ○招待状や発表会のお知らせについて意見を出し作成する。(3: 本時(2・3/3))	・友達や地域の人などに、お願いしたり、説明したりする活動を繰り返す。	第三次	○話合いの結果から「大すきこの町発表会」の準備と案内をする。(6)	・説明する内容を友達に聞いてもらい、感想を述べ合う場面を設定する。	第四次	○「大すきこの町発表会」を開催し、お世話になった人や地域の人との交流を深める。(3)	・感謝の気持ちを示すとともに、相手を意識した情報発信とすることを大切にする。	
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点															
第一次	○これまでの町探検を振り返り、思い出に残っている場所や会ってみたい人を発表し連絡を取る。(2)	・カードや写真を効果的に活用するとともに、学級の実態に応じた人数のグループを編成し、意見が述べやすい環境を整える。															
第二次	○町探検のまとめ「大すき、この町発表会」の計画を話し合う。(3) ○招待状や発表会のお知らせについて意見を出し作成する。(3: 本時(2・3/3))	・友達や地域の人などに、お願いしたり、説明したりする活動を繰り返す。															
第三次	○話合いの結果から「大すきこの町発表会」の準備と案内をする。(6)	・説明する内容を友達に聞いてもらい、感想を述べ合う場面を設定する。															
第四次	○「大すきこの町発表会」を開催し、お世話になった人や地域の人との交流を深める。(3)	・感謝の気持ちを示すとともに、相手を意識した情報発信とすることを大切にする。															
	(2) 本時の学習																
	お世話になった人たちを招待したり、家族や地域の方々にお知らせしたりするための方法や内容について考え、意見やアイデアを発表し合う。																
	<p>①グループ毎に招待状やお知らせに必要な事柄(内容)やデザイン(方法)について話し合う。</p> <p>②招待状の渡し方やお知らせの掲示のお願いなどを確認し、意見や感想を述べる。</p>																

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・生活において、内容(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわる楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」を示している。

生活科においては活動や体験を重視している。しかし、活動や体験をその場限りで終わらせるのではなく、より一層の充実を図る観点から、言葉などを中心としたコミュニケーション活動を通して、体験したことを他者と交流することを目指した内容(8)「生活や出来事の交流」を新たに位置付けている。言葉を使った言語活動は、思考を促し、他者とのコミュニケーションを成立させ、情緒を安定させることにつながる。中でも、特に、言語活動によって他者と交流して認め合ったり、振り返りとらえ直したりすることが重要である。

本事例では、町探検を発展させ、「大すきこの町発表会の開催」に向け、見付けたことや気付いたことをまとめて伝えたり、開催に向けて地域の人などと交流したりする活動を行う。発表の場や準備の過程においても、様々な相手に対して多様な表現方法で交流しかかわることができるように、この活動を構想した。

【言語活動充実の工夫】一発表会に向けて、話したり書いたりする活動一

本単元は、四季を通した1年間の町探検のまとめとして、内容(3)「地域と生活」と内容(8)「生活や出来事の交流」で構成している。「知って、伝えて、大すきこの町」という単元名からもわかるように、町探検を通して「知ったこと(出会い、気づき、驚き、親しみ、感動等)」を、友達や教師、あるいは家庭や地域の人に「伝えること・伝え合うこと」によって、自分の住む町に関心や愛着がもてるようにすることをねらいとしている。

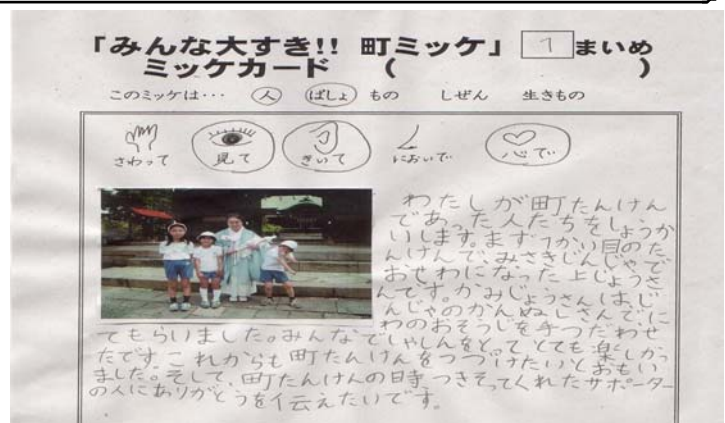
言語活動については、主に書く活動として、以下のことを行った。

- ①カードから伝えたいことを選び紙芝居や絵にまとめる
- ②説明する内容を文章にまとめる
- ③招待状や開催の案内状を作成する
- ④感謝の気持ちを手紙にする

ここでは、自分の思いや願いを大切に表現することや、多様な表現活動が行えるように心がけた。主に話す活動としては、以下のことを行った。

- ①思い出の場所や会ってみたい人について自分の思いを話す
- ②友達の考えや意見に対する感想を話す
- ③地域の方々の都合を尋ねる
- ④招待状や案内状で参加の依頼をする
- ⑤地域の方々への感謝の気持ちを伝える

自分の思いを相手に話すとともに、相手の気持ちを知り、相手のことも考えた双方向性のあるコミュニケーションを行えるようにしたい。発表会の実現に向けて、繰り返し多様な方法で交流する場を用意し、その中で多くの人との交流や互いに理解し合えることの楽しさに気付くことを期待し実践した。



思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ①